

我が庭畑

2015年7月～2016年3月

このところ連続して「我が庭畑」シリーズを発行している。いよいよ今回で一区切りになりそうだ。2016年4月以降は、数年後になるだろう。

2015年からは、それまで連続襲来した巨大台風が途絶え、しばらく台風「休憩期」に入ったかのようだ。おかげで、庭畑も安定した感じになってきた。植物の種類も、これ以降それほど増えていない。だから、庭畑作業も、季節ごとに安定的なものになってきたと言えよう。ということで、数年前までのような爆発的な記事数ではなくなってきた。

そんな庭畑を御覧下さい。

2018年8月発行

目次

枇杷収穫 鳥が先か私が先か	2016年03月31日
メイフラワー満開	2016年03月18日
我が庭畑の果樹 ライチ 枇杷 レモン マンゴー	2016年03月15日
庭は春の色へ トキソウ 桜 シャリンバイ ハツユキカズラ 宿根トレニアコンカラー 千年木	2016年03月13日
ピタンガの開花・結実 網にかかった二匹目のハブ ベランダ手すりですすめる鳩	2016年03月10日
アネモネ開花	2016年02月17日
樹木につけたラン(着生ラン)の開花	2016年02月15日
ドラセナ・マッサンゲアナ開花 オオタニワタリの新葉 種から生育中のタイムとペパーミント	2016年02月10日
リュウキュウバライチゴの開花	2016年01月30日
寒さ来襲 寒さで傷んだ花や葉	2016年01月28日
オーストラリアン・ローズマリー	2016年01月21日
インドナツメ ビワ パッションフルーツ	2016年01月17日
ドラセナ・マッサンゲアナ(幸福の木)とサガリバナ(サワフジ)の開花	2016年01月14日
ハーブたち クリーピング・ローズマリー ボッグセージ オレガノ ペニーロイヤルミント チャービル	2016年01月10日
りゅうきゅうこすみれ コリアンダー イタリアンパセリ レモンバーム ステビア クリーピングタイム	2016年01月03日
庭の花 トレニア なでしこ ベゴニア レースラベンダー クフェア ビワ	2015年12月27日
セイロンベンケイの花	2015年12月22日
桜を植える	2015年12月15日
まだ咲くサガリバナ 千年木の花	2015年12月09日
ガジマルの花	2015年12月03日
らせん型ハーブガーデン	2015年11月27日
リュウキュウアサギマダラ ローゼル ツルボ ガジマル	2015年11月19日
ニンニクカズラ クミスクチン サギナ	2015年11月11日
秋の野菜へ ルッコラ 小松菜 わさび菜	2015年11月02日
コーヒーの収穫	2015年10月27日
「琉球薬草誌」 高血圧向け薬草茶作り	2015年10月19日
高さ8メートルを越えるブーゲンビリアとチシャノキ	2015年10月15日
タイワンレンギョウ(ハリマツリ) サンダンカ ラン サンセベリア	2015年10月08日
クワンソウ、フウリンブッソウゲ、オオバナアリアケカズラ、インドナツメの花	2015年10月04日
ウリズンマメ=リュウキュウシカクマメの大収穫	2015年09月25日
アセローラ	2015年09月21日
野菜の種まき	2015年09月17日
神戸布引ハーブ園	2015年09月14日
ランの開花	2015年09月12日

ドラゴンフルーツ	2015年09月02日
びっくり 我が庭にホタルが現れる	2015年08月31日
観葉植物園になってしまった中庭	2015年08月29日
今回の台風の被害は軽微だった	2015年08月26日
野菜 オクラ ウリズンマメ モロヘイヤ カンダバー ニラ ツルムラサキ ルッコラ	2015年08月21日
HP掲載ファイルの製本 ベランダで鳩の交尾 アロマ・ハーブの会	2015年08月19日
果物 バンシルー	2015年08月17日
サワフジ=サガリバナ満開	2015年08月08日
バナナ収穫	2015年08月06日
現在の庭づくり	2015年08月03日
サボテン移植	2015年07月28日
沖縄薬草は、在来ハーブ	2015年07月22日
ローレル イタリアンパセリ ルッコラ ウォールジャーマンダー ローゼル	2015年07月18日
セージ三種 レモンティーツリー コモンバジル	2015年07月15日
いろいろなミントとローズマリー	2015年07月11日
マンゴー パッションフルーツ バナナ グァバ ドラゴンフルーツ	2015年07月08日
ヤロー セントジョンズワート ワイルドベルガモット ローズマリー レモンバーム	2015年07月06日
メキシカン・スイート・ハーブ ステビア オレガノ タイム カラミント	2015年07月01日

枇杷収穫 鳥が先か私が先か

2016年03月31日

今年は、200個以上実がついた枇杷だが、色づいて収穫真っ最中になった。袋かけもした。ところが、鳥が袋を破って収穫なさる。できるだけ、樹上で熟してから収穫したい私だが、困っている。

まだ一週間ぐらい、このやりとりが続くだろう。

お店でみると、結構高値で販売している。恵美子は、「お店で売ったら」というけど、それは無理だ。



メイフラワー満開 2016年03月18日

暖かくなり、メイフラワーが満開だ。香りも強い。

生育力旺盛なので、花後は大胆に剪定する。





我が庭畑の果樹 ライチ 枇杷 レ

モン マンゴー 2016年03月15日

春にすっかりなった感じだ。庭畑の果樹たちも、新しい動きを見せている。

ライチは、新しい花芽をたくさん出した。もうすぐ開花し、5月終わりから6月初めに、実を収穫できるだろう。

枇杷の実が大きくなってきた。鳥が味見をはじめた。まだ少し早いようだ。今年は実験的に袋かけをしてみた。といっても、知識がないので、全くの試行錯誤だ。園芸店では、マンゴーの袋しか売っていなかったので、それで代用してみた。50袋。摘果もしたので、一袋に数個ほどだ。



中右 昨年植えたレモンが、新葉を出してきた。同時に赤い蕾を三つ付けた。

下 マンゴーは、1月から咲き続けている。雨が多いので、受粉したかと思うと、すぐに流されているようだ。ここ2年は台風で全滅に近かったのが、今年はなんとかならないかと、期待する。



ほかには、大胆な剪定をしたパッションフルーツ・インドナツメが新芽を出している。

ホワイトサボテが、大きく成長し、新しい枝葉をたくさん出している。これはまだ結実経験がない。

三尺バナナは、間もなく開花しそうな気配だ。ほかに、アテモヤ・バンシルー・パパイヤなど



庭は春の色へ

トキシウ 桜

シャリンバイ

ハツユキカズラ

宿根トレニアコ



ンカラー 千年木

2016年03月13日

ここ2, 3日は寒かったが、ようやく春の色が漂い始めた。

上左 トキシウの花 2月初め、洋蘭博覧会の折に買った球根から、もう花が咲いた

上右 昨年末に植えた桜の苗から葉が一杯飛び出してきた。開花は来年だろうか、再来年だろうか。期待する。



中左 シャリンバイの開花スタート
しばらくすると満開になるだろう。我が家の敷地の隅に、自然に成長してきた。私たちが住み始めた11年余り前には、高さ1メートルぐらいだったのが、いまでは3～4メートルくらいになる。



中右 ハツユキカズラの新葉の色が鮮やかだ。2～3年前に購入苗を植えたもの。

下左 昨年植えた宿根トレニアコンカラーがいっぱいの花を咲かせている

下右 今年は季節異変のためか、12月初めの第一次開花について、いまどき第二次開花した千年木





ピタンガの開花・結実 網にかかった二匹目のハブ ベランダ手すりでキスする

鳩 2016年03月10日



庭畑の話題三つ

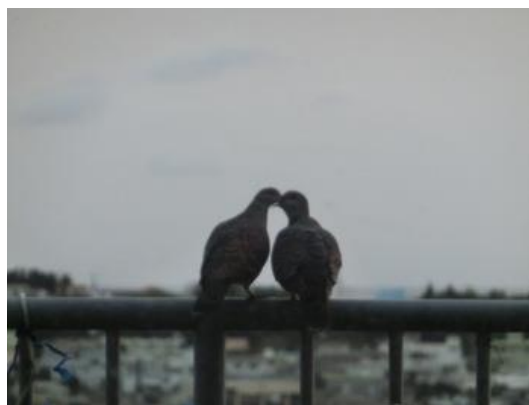
陽気がよくなり、ピタンガの開花・結実のシーズンを迎えた。味は甘酸っぱい

左下 1月に続いて、二匹目のハブが網にかかった。恐らくヒメハブ。好物のカエルを求めているのだろう。お腹が異常に大きいので、なにか大きな獲物にありついたらばかりだろう。

ハブは、半月ほどで、跡形もなく消える。腐敗にひとたまりもないのだろう。

右下ベランダ手すりでキスする鳩。私たちが夕食をしている場所の真正面で、じゃれ合っている。恋の季節

だろう。ある年は、そのまま堂々と交尾したが、今年はまだ目撃していない。





アネモネ開花 2016年02月17日

寒さ暖かさが一進一退状態だ。今年は激しい印象。風邪をひかないようにしなくては、と思うが、なぜだかここ3年間、ひいていない。こんなこと生まれてはじめてだ。

だけど、北風が吹くときは、大陸からPM2.5が大量に運ばれてくるから、外出はできるだけ避ける。

寒さ対策に、30年前から着てきたコートを着ることもある。それを着て卓球練習

に行ったら、仲間が「刑事コロンボ」だという。ということで、時々刑事コロンボになる日々だ。

温度変化が激しいが、庭畑の植物は確実に春に向かい始めた。

まず12月に植えた桜が、新葉を見せ始めた。

いろいろな花が咲き始めたが、アネモネの開花が印象的だ。

愛知で生活していた十数年前にも咲かせたが、沖縄では初めてだ。今3つぐらい咲いている。昨秋植えていた球根から開花した。

他に、ミニバラも結構咲いている。



名前を忘れた花も



樹木につけたラン（着生ラン）の開花

2016年02月15日

ランをプレゼントされることがよくある。1～2ヶ月は、室内の雰囲気を明るくなごませてくれるが、その後どうするか。室外に出すが、対応に無知なので、1～2年で駄目にしてしまうことが多かった。それでも強い種類のもの生き残り、たまに開花にまでいたることがある。

どこで情報を得たかは忘れたが、樹木の枝分かれの箇所に水苔に包んで固定させるやり方を知り、試すこともあった。2年前に、フウランがそれで開花した。ランではないが、サクラランも昨年開花した。

そんなやり方を本格的に始めたのは、1年前。そのうちの一つのカトレヤ系のものが、開花し始めた。クロキに着生させたものだ。（右上 右中）

最近、ラン栽培の本を購入して、学習しながら、この着生ランのやり方をすすめ始めた。先週のことだ。すると、ランの種類でやり方が随分異なることを知る。水苔を使わない種もある。

全部で、15個ぐらiyorっている。今回は二つだけ紹介しよう。開花しはじめていたものを買って着生させたバンダの仲間（左下）

昨年咲いたが、へご板に着生させるのがいいと本に書いてあったので、使い古しのへご板に移したフウラン。（右下）

一番の問題は、ランの種類の特特定だ。最近買ったものは、ついている名札を傍に付けておく。しかし、いただいたものや古いものは名札がなく、いろいろと調べるしかない。名札はあっても、本で見つからないものがある。

ということで、数年は試行錯誤が続くだろう。





ドラセナ・マッサンゲアナ開花

オオタニワタリの新葉 種から生

育中のタイムとペパーミント

2016年02月10日

激しい寒暖の繰り返しの日々だ。雨量は多めで、水まき不要だが、根腐れが心配なものが出てくる。

クルチなどの樹木の剪定をおおよすませる。パッションフルーツの収穫が終わり、伸

びた蔓の整理も終わった。ハーブや野菜はほぼ順調だ。枇杷が沢山結実しているので、収穫が楽しみ。マンゴ

ーの花は満開状態。

1月中旬に紹介したドラセナ・マッサンゲアナの開花だが、寒さにやられたこともあるが、写真のものは立派に咲いた。露地植えた。

(上左)

オオタニワタリの新葉が元気よく出てきている。新葉は、食べられる。食べてみたことはあるが、美味しいともいえない。料理法が下手なのだろう。(中右)



タイムとペパーミントは、繰り返し挑戦してきたが、うまく育たないことが多い。特にペパーミントは全敗だ。昨秋、種から育ててみた。発芽まで1～2か月かかったが、なんとか苗らしくなってきた。今、小さな鉢への定植を始めた。(下左)



リュウキュウバライチゴの開花

2016年01月30日

3年ぐらい前に買って来た苗を植えた。

寒さが終わって、暖かくなった28日、初開花に気づいた。これが、赤い実になると、食べられるとのこと。

大きくなった苗の周りに、小さな苗が育っているので、昨年までも開花して、実を落としていたはずだ。気づかなかった。

別名オオバライチゴで、本土でも海岸沿いの暖かいところで育つそうだ。



寒さ来襲 寒さで傷んだ花や葉 2016年01月28日

23夕方～26日朝と、とんでもない寒さがやってきた。私は通算すると30年ぐらいの沖縄生活になるが、初体験だ。

我が家あたりでは、6度近くまでさがった。自動車の車外温度計の計測だ。窓外の温度計は7度近くだった。私が住む中山は南斜面で海に近く、北風がさえぎられるので、まだいい方だと思う。知念半島のとっぺんにあり標高100～150メートルほどで、北風をまともに受ける親慶原やつきしろでは、みぞれを目撃した人もいるとのことだ。

気象観測で登場する糸数の測定地点は、糸数城址の隣の一番高いところで風をまともに受けるところだから、もっと低い気温が出る。新聞によると、4.1度と観測史上最低だったらしい。我が家と比べて、2～3度低い結果が出る。

私の心配は、庭畑の植物が寒さにやられないかどうかにあった。やられたものを並べよう。

開花しはじめたマッサンゲアナの花 フウリンブッソウゲの花と葉 (写真)

バジルの葉 タイワンレンギョウの葉

寒い中、海岸やイノーを散策した。魚が気絶して浮いているというニュースがあったからだが、目撃できなかった。我が家のメダカは水草の陰でじっとしているので、全員無事かどうかは、まだ確認できない。

寒さをくぐらないと、開花しないという桜が、暖冬の今年は遅かったが、これで一気に開花しそうだ。

室内も寒いので、エアコンの暖房機能が全開した。衣服も10年以上前に本土で着たものが大活躍だ。



オーストラリアン・ローズマリー

2016年01月21日

ローズマリーではない。似ているから、こんな名前になっただけのこと。

私も、間違えて購入して植えた。インターネットで調べたら、ローズマリーではないことが分かった。

最初の苗は、小さくて、うまく根付いていない。苗店の人に聞いたら、小さい時に露地植えするうまくいかないとのこと。そこで、新たに大きめの苗を買って植えたら、すぐに根付いて成長し、開花も立派にしている。





インドナツメ ビワ パッション

フルーツ 2016年01月17日

今回は、果樹の話

まず、インドナツメが初結実したこと。6、7年前に、買った小さな苗が、今や3メートルを超すほどになった。大きくなったけど、なかなか結実しないな、と思っていた。先日、専門家に尋ねたら、大胆な剪定をしないと、結実しないといわれた。

そこで、剪定を始めたら、一個、結実しているのを発見。第一号。無数の花を咲かせて、たった一つ。でも、剪定をするから、次期は期待しよう。

枇杷の開花が進行している。着果しているのも発見。

今年は、昨年以上に収穫できることを期待している。3月だ。



パッションフルーツは、いよいよ収穫終了が近づく。連日5個ぐらい収穫。食べきれないので、来客にどんどん差し上げている。評判は悪くない。紫色と黄色があるが、今年はなぜか黄色のものばかりだ。



たった一個、先日収穫したカニステルを、ちょっとかじってみたら、早すぎた。これも、次期に備えて、剪定する。

ドラセナ・マッサンゲアナ（幸福の木）とサガリバナ（サワフジ）の開花 2016年01月14日

我が家には、ドラセナの仲間がいくつもある。ほとんどが、ここに住み始めたころ、何人もの訪問客がお祝い品としてプレゼントしてくれたものだ。当時の人気商品だったのだろうか。少しは鉢植えにしたが、ほとんど庭に植えた。

幸い、ほとんどが生育している。



そのうち、フラグランスのマッサンゲアナ（幸福の木）が、蕾をたくさんつけたもの出してきた。庭のものも、鉢植えのものもだ。いずれも10年ほど育てているものだ。開花は初体験だ。写真は鉢植えのものだ。間もなく立派に咲くだろうと期待するが、初体験なので、よくは分からない。

ところで、ドラセナの仲間の名前はよくわからない。マッサンゲアナという名前も、今回、図鑑とインターネットで調べてわかったものだ。

私には、千年木の仲間ぐらいの認識だ。

今年の異常気候は、サガリバナ（サワフジ）の開花を、ついに年を越させてしまった。1月14日朝も開花していた。最後の蕾なので、最終日となりそう。写真は9日朝の撮影だ。

結局、6月から1月までの7カ月間咲いていたことに



なる。

異常気象のためか、マンゴーの開花も早まりそうだ。間もなく開花しそうだ。開花したら報告しよう。





ハーブたち クリーピング・ローズマリー ボッグセージ オレガノ ペニーロ



イヤルミント チャービル

ル 2016年01月10日

我が庭のハーブで、元気のいいものをいくつか紹介しよう。

上左 クリーピング・ローズマリー 一昨年植えたが、どんどん広がっている。

上右 ボッグセージ 庭の池のまわりでどんどん成長。しば



しばカットして、防虫向けに活用



中左 オレガノ

中右 ペニーロイヤルミント 我が家のアリ対策向け

下左 チャービル 香りがよいので、サラダなどを飾っている。

りゅうきゅうこすみれ コリアンダー
ー イタリアンパセリ レモンバー
ム ステビア クリーピングタイム

2016年01月03日

新年の庭畑の植物たち。暖冬で雨の日も多い穏やかな日々なので、健やかに生育しているものが多い。いくつか紹介しよう。



右 りゅうきゅうこすみれ 開花一号



中左 コリアンダー (パクチー) 健やかに伸び、開花もする。

下左 イタリアンパセリ
料理用のハーブが盛んに生育。料理研究が必要

下右 レモンバーム (メリッサ)





左 ステビア 長年、育てるのに苦労してきたが、ようやく定着したようだ。

中右 クリーピングタイム 元気よい。



庭の花 トレニア なでしこ ベ
ゴニア レースラベンダー クフ
ェア ビワ 2015年12月27日

季節が代わり、新しい花々が咲いている。

右 トレニア（多年草） 普通のトレニア・コンカラーは一年草だ。でも、これは多年草なので、咲き続けている。最近開発された種のような。



中左 なでしこ うまくいけば多年草になってくれる。我が庭の定番。

下左 ベゴニア

下右 レースラベンダー ラベンダーで、沖縄の夏を越せるのは、この種だけだと

いう触れ込みだが、私は成功していない。これも、最近植えたものだ。





左 クフェア これは10年間元気だ。とても小さい花だが、清楚で美しい。



右 ビワ これから半月ほどが開花シーズン。3月には実の収穫になりそうだ。

セイロンベンケイの花

2015年12月22日

セイロンベンケイが咲き始めた。だんだん赤くなっていくが、もうしばらくすると、真紅になるだろう。

花は下に向かって咲く。



もう一種類のセイロンベンケイの開花は、このあとだ。

両方とも、ほったらかしでも元気がよい。葉が倒れると、その先から芽が出てきて成長していく。だから、しばしば整理のために間引くことが必要だ。

桜を植える 2015年12月15日

庭に、うまく育たなかったが、10年ほど芝を植えていた。そこを思い切って模様替えして、花木を中心としたいくつかの植物を植える作業を、1月から1年間してきた。40センチぐらいの穴を掘って、枝葉を大量に投入し堆肥化してきた。半年後に、野菜などを一時栽培しはじめた。そして、今、予定の花木などを植え始めている。

その一区切りに、桜を庭の中心に植える。近くの苗木屋で、1800円で購入した130センチの高さのものだ。

植えた13日は、長男の40回忌であり、長男は19日には42才になる（計算だ）。長いものだ。

その記念樹として、桜を植えたのだ。

無事育って、美しい花を咲かせ、この庭の中心になってくれることを願っている。苗木屋さんは、開花までに何年か必要だと説明した。



まだ咲くサガリバナ 千年木の花

2015年12月09日

今年の暖かさ（暑さ）は、我が庭畑にも表れている。

一番びっくりしたのは、サガリバナ（サワフジ）が開花したことだ。しかも、一房だけでなく、2本の木で10房ほど開花するのだ。本を見ると、6～8月開花と書かれている。昨年も11月初めまで咲いて驚いたが、今年、なお一層驚く。我が家だけだろうか。

これら一連の蕾は、6日夜から咲き始めたが、多分中旬まで咲き続けるだろう。花の大きさは季節はずれなので、やや小ぶりだ。

一枚目写真は、朝7時撮影。二枚目は、夜8時撮影



千年木は、例年通りだが、11月末から咲き始めた。多分1月ごろまで続くだろう。地味で気づかれにくいですが、近くで見れば、結構美しい。





ガジマルの花 2015年12月03日

この季節、ガジマルにたくさんの実がつく。と書いたが、実だと長い間、思い込んできたのだった。最近、実ではないことを学んだ。ガジマルはイチジクの仲間で、実めいたものの中に雄花・雌花が咲き、それを特定の虫が媒介して授粉するというのだ。

確かに、拡大写真を見ると、イチジクそっくりだ。

写真は、私が実めいたものを取ったあとのガジマル。一つだけ、写真に写っている。これは、我が家を建てた時、隣人からいただいた盆栽のガジマルだ。しばし前に紹介したが、気根が3メートルも垂れ下がって、地面に「根付いた」、話題のガジマルだ。



らせん型ハーブガーデン

2015年11月27日

北風が吹いて、急に寒くなってきた。ついでにPM2.5も多く、私の目鼻が鋭く反応している。

久しぶりに、らせん型ハーブガーデン。知人の本を参照して、10年前からつくってきたものだが、これは二代目で、制作して2～3年。2～3坪の広さに、穴を掘って30～50センチくらい枝葉を大量に埋めて、少し土をかけた。らせんは、大き目の石で上っていく感じで作った。周りはタマリユウで囲う。



中心は、昨年の台風で倒れたサボテンの挿し木である。根付いて、急成長し始めた。

では写真の順に映っているハーブの名を、左回りで並べていこう。

アロエベラ
オレガノ
ペニーロイヤルミント
レモンバーム
カモミール
ローズマリー

キンレンカ (ナスチウム)
ワイルド・ベルガモット
タイム





アスパラガス
ディル
フローレンス・フェンネル
カラミント
ヤロー

セロリ
パセリ
フェンネル
バジル
クリーピング・ローズマリー



写真では見つけにくいですが、生育しているもの
レモングラス・ボッグセージ・ブラックミント・オレンジミント・ジンジャーミント・ステビア・クリーピングタイム
らせん型ハーブガーデンとは別の所に10種類ほどのハーブを育てている。



リュウキュウアサギマダラ ローゼ ル ツルボ ガジマル

2015年11月19日

異常な暖かさを越えて、暑くさえある日が続く。そんななか、我が庭畑の話題をいくつか。

左 リュウキュウアサギマダラ

今年は、蝶が少ない。一昨年、昨年の台風の影響だろうか。それでも、ようやく最近、蝶が増えてきた。写真リュウキュウアサギマダラは、ブルーベリーの新苗にとまっている。羽が少しちぎれているので、何かにやられたのだろうか。

そういえば、先週末の具志頭で見た大型蝶を図鑑で調べたら、日本で一番大きなアゲハ蝶のナガサキアゲハだった。オオゴマダラは、今年は見ないままだ。

中右 ローゼルの花



ほったらかしにしているが、毎年開花する。

中左 ツルボ
いっぱい自生しているが、名称不詳だった。
フェイスブック



の「ともだち」がこの写真を掲載したので、名前がわかった。花の季節は終わってしまったが。

左 盆栽風のガジマルが、鉢底から出てきた根を3メートル下の地面に届かせ、しっかりと成長。



我が家完成の際に、隣人からいただいた寄せ植え。大き目の鉢に植え替えたが、競合して、今やトラノオランとオリズランとガジマルだけになった。それでも鉢が小さすぎるのか、気根をぐんぐん伸ばし、3階玄関から2階中庭に到達させた。それがしっかりした根になり、再び旺盛な生育ぶりを見せている（右写真）。盛んに剪定をしないと大変だ。





ニンニクカズラ クミスクチン

サギナ

2015年11月11日

この季節の花が咲きだした。

まず目立つのはニンニクカズラ。あちこちで見かけるが、我が庭でも咲き始めた。いまは、サガリバナの木をつたって伸びている。サガリバナは、今年最後の花が咲き終わったばかりだ。入れ替わりに、ニンニクカズラの開花だ。最初は濃い紫色だが、だんだんピンクになっている。

クミスクチンも咲き始めた。クミスクチンを日本語にすると「ネコノヒゲ」ということだ。命名が素晴らしいと思う。これから長期にわたって、うんざりするほど咲き続けるはずだ。



左下 これは、サギナ。別名アイリッシュモス。先日苗店で見つけたので植えてみた。もこもこして可愛い。グラウンドカバーになりそうだ。インターネットで調べると、モス（苔）という名がついているが、苔ではなくナデシコ科だそうだ。広がるのを楽しみにしている。

秋の野菜へ ルッコラ 小松菜 わ

さび菜

2015年11月02日

野菜が育つには絶好の季節になってきた。風向きが南・東から北・西へと変化する。私にとって、いやなのはPM2.5の増加だ。北風・西風に乗ってやってくるからだ。インターネットでも、毎日のPM2.5の量と予報を出している。私の眼・鼻・喉の反応とほぼ一致する。

それはさておき、モロヘイヤ・ウリずん豆・グシチャンイイナ（カンダバーの改良種）、里芋は完了し、代わって、こんな野菜が食卓をにぎわす。



上 ルッコラ



これには、9月にまいた種からのものと、多年草化した昨年のもとのがある。とても美味しい。育てるのは、簡単。虫もつかない。ちょっぴり苦めの味があるので、ドレッシング代わりになる。買うと結構高い。私たちは、毎日食べている。

左 小松菜 定番だ

右 わさび菜 これも珍しく、スーパーなどでは滅多に出会わない。わさびの味に似ていることからの命名のようだ。9月にまいた種が立派に育っている。

他には、20日ネギ、ニラ、オキダイナなどが生育している。





コーヒーの収穫 2015年10月27日

コーヒーの実収穫の季節だ。10年前に植えた3本の苗。うまくいかなかったので、山原のコーヒー栽培者にコツを習ってから、数年前から少しずつだが、収穫できるようになった。

左写真は、今年の収穫一号。このくらいで、コーヒー数杯程度になる。あと2, 3回は収穫できそうだ。

毎年少しずつ増えているが、もっと増えない

と、まともな収穫とはいえない。

右写真は、収穫間近の実をつけているコーヒーの木



果物の収穫では、ドラゴンフルーツが今年最後の収穫を迎えた。パッションフルーツが、秋の収穫期を迎えた。

「琉球薬草誌」 高血圧向け薬草茶作り

2015年10月19日

南城市内にある沖縄長生薬草本社のオーナー下地清吉さんの『琉球薬草誌』（琉球書房2015年）が、最近発刊されたことを新聞で知った。早速購入し読んだ。

何冊か、関連書を読んだが、一番身近に感じた。と言うのは、50種近くの薬草が紹介されているが、半数以上、現在栽培しているか、過去に栽培経験があるものだからだ。

不明な点が、いくつも本書で謎解きできた感じになった。コンヘンルーダ（イシャナカセソウ）やボルトジンユがその例だ。

そして、育て方・活用の仕方がよりはっきりしたものが多い。



本書を参考にして、早速これまで同様、薬草茶つくりにとりか



かったが、今回は特定の効果に焦点を当てて、作ってみた。

私たちは夫婦は、長い間、低血圧で悩んできた。最近、数値があがって、普通ないしはそれ以上になってきたので、高血圧対処を少しずつ考えなくては、と思い始めていた。加齢のために、血圧があがるのはよくあることらしいが、適度なレベルにとどめたい、というわけだ。

本書によると、グアバ、クミスクチン、クワ葉、長命草、ドクダミ、ボルトジンユがいいということだ。

写真は、それらを収穫し、乾燥しているところだ。ボルトジンユは、かつて繁茂していたが、使い方が不明で放置して、生育量が少量過ぎるので、次回加えることにする。そして、フーチバーも入っている。

数日後には乾燥し終えて、ミキサーに軽くかけて保存し、必要な分だけ煎じて飲むことになる。これは数年前からやってきたが、効能を考えずにしてきた。今回は、ターゲットを絞るというわけだ。



高さ8メートルを越えるブーゲンビリアとチシャノキ

2015年10月15日

涼風（しだかぜ）が心地よく、常時吹くようになったこのごろ。庭の木々も喜び、新葉や花をたくさん出している。

今回は、我が庭畑に育つ大きな木を二つ紹介しよう。



まずは、目立つブーゲンビリア。上左写真は、3階ベランダから撮影した上部。写真右側にもう少し伸びて、4階の床面の高さには達する。4、5年前にここまで来て、ストップしている。地面からでは10メートルを超す。

上右写真は、地上からの撮影。花は、年に3～4回満開になる。今も満開だが、小規模満開といったところだ。満開が過ぎるころ、地面やベランダには、落ちた苞（ほう 花を包んでいた葉で、ピンクで美しいので、これを花と間違いやすい）で、ピンク一色になる。その後、剪定だ。これが結構大変である。

左写真は、根元の写真。数本の幹が出ている。脇から出てきた芽や

小枝を切り取る作業も結構なものだ。

11年前に我が家に住み始めて3か月後に、娘夫婦が、花野果村で購入した苗を記念植樹をした。そのころ、高さ1メートルにもならなかった。だから、樹齢は12、13年ほどだろう。

次は、チシャノキ。土地購入以前からあった。だから、樹齢は、12年以上で、おそらく20～30年ぐらいだろう。このあたりでよく見かけるが、地味だから皆さんの関心度は低い。風当たりが強いところにあるので、この大きさが限度なのだろうか。数年前から、高さ7～8メートルで止まっている。

下右写真は根元あたり。





台湾レンギョウ (ハリマツリ) サンダンカ ラン サンセベリア
2015年10月08日

新たな花の季節がやってきた。
台湾レンギョウ (ハリマツリ) とてもきれいな花が惜しげもなくたくさん咲く。

中左 サンダンカ 左に三つあるのが蕾たちで、右のピンクが開花したもの。庭にいくつも植えたが、最近では、こぼれた種から、新しい苗ができています。



中右 ラン 玄関先で咲き出した。

下右 サンセベリア (とらのお) の実 しばらく前に花を紹介したが、実になった。まったく目立たないのいい。



クワンソウ、フウリンブッソウゲ、オオバナアリアケカズラ、インドナツメの花 2015年10月04日

10月に入った。9月は「今年は早く涼しくなるな」という印象だったが、9月末には急に暑くなった。でも、なんとか涼しくなっていきそうだ。

沖縄に四季があるというのは、他府県感覚での見方で、むしろ二季というべきだ、というのをどこかで読んだ記憶がある。微妙な感じだ。

それはともかく、徐々に秋・冬の季節が近づいてきそうな空気をを感じる。それとともに、畑庭作業も忙しくなる。8月までに比べて5割増しの作業時間になってきた。



まずは、今盛んな花を紹介しよう。

右上 クワンソウ

中左 フウリンブッソウゲ



中右 オオバナアリアケカズラと蘭とクロッサンドラ

下右 インドナツメ 数年前に植えた蔓性の大木。現在、根元から蔓の先端まで数メートルになっている。現在いっぱい開花している。結実を祈る。実を試食したことがあるが、リンゴに似た感じだ。





ウリズンマメ＝リュウキュウシカクマメの大収穫

2015年09月25日

下旬に入って、急に大収穫の連続だ。毎日20個ぐらいだ。7月から収穫が始まっているが、一日あたり0～3個のペースだった。それが、このところ急に増えたのだ。これは毎年のことではある。12月初めまで続くが、今年はどうだろうか。

一昨年、昨年植えた数本の苗が冬を越したものだ。根元は太っている。冬場は、根元10センチぐらいのところで切っている。春に再び芽を出して伸びてくる。

収穫適期を2～3日延ばすと、硬くなってきて、食べにくくなる。しかも、葉に隠れて探せないものが多い。だから、12月初めの収穫最終期に整理する際気付くものさえある。それらは次年の種にする。

写真には、花と小さな実が沢山写っている。

アセローラ

2015年09月21日

数年前に植えたアセローラ3本。昨年あたりから少しずつ実をつけるようになった。今は、一日に2～3個ぐらい収穫できる。来年ぐらいから、客人にも出せるようになると期待する。

花は、とても小さいが、美しい。一週間ぐらいで実になる。赤くなったら収穫する。

樹高は、2メートル余り。高くなりすぎると、収穫できないので、高さを抑えている。



野菜の種まき 2015年09月17日

早めに秋めいてきた今年。

野菜の種まきの時期も早めなくてはならない。

今年は、8月下旬からさみだれ式に播いている。10月になれば収穫開始だ。

中左 小松菜、タイサイ、水菜、わさび菜の混植 種が最初から混ぜて袋詰めされている。私流の混植が普及してきているのだろう。

中右 大根

下左 種の袋 ルッコラ 4種混合 小松菜

この他に、まもなく、春菊、オキダイナなどを植える予定だ。

下右 数日前に播いたばかりで、芽が出てきている。



神戸布引ハーブ園

2015年09月14日

学会出席のための旅で、私にとって最高だったのは、神戸布引ハーブ園訪問だった。

ハーブ園の類は、旅の途中で出会うたびに入场見学してきたが、4時間も滞在したのは初めてだ。月曜日の午前ということもあって、訪問者は少なかった。大多数は大型クルーズ船で来たらしい中国からの観光者だった。

到着して回り始めてしばらくたつと、「ハーブガイドツアー」案内の放送が聞こえた。早速集合場所のハーブミュージアムに駆けつける。どうやら参加者は私一人のようだった。これ幸いにと、案内のハーブ専門ガイドに日ごろわからないことを沢山尋ねた。ガイドも沖縄に関心が深いようだったので、沖縄でのハーブについて、私もガイドの質問に答えるなど、有意義な交流会にもなった。

ここで分かったこと、新発見のことをいくつか書こう。

- ・ニラもハーブだということ。ガーリックチャイブと呼ぶのだそうだ。
- ・クリーピングタイムは、グランドカバーとして活用できること。
- ・ローマンカモミールとジャーマンカモミールの違いと活用方法。
- ・フェンネル類は、夏にショートカットして夏を越させるのがいいこと。
- ・ステビアは蒸れを避けるために風通しをよくすること。私の失敗連続の原因判明
- ・コヘンルーダは、ヘンルーダ＝ルーと同じものであること。
- ・クワンソウは、このあたりでは名前が知られていず、「やぶかんぞう」と呼ばれているものに近い事。
- ・チャイブは湿り気が重要なこと
- ・苗の植え付けをしている人に聞いたが、土はチップと馬糞を混ぜたものを使っていること。

ガイドツアーの当初テーマとは離れた会話を予定時間を大幅に超えてして、大満足だった。その後、レストランで、ハーブ尽くしのバイキングをいただいた。これまた大満足だ。その後、ゆっくりと坂を下りながら、ハーブを見て歩いた。充実と大満足の4時間だった。



ハーブミュージアム



左 ステビア一杯。



右 一杯のヤロー



中左 ボッグセージ



中右 下左 巨大なオクラの花と実（沖縄の畑で見かけるものの数倍）



下右 ハーブ園から見る神戸の街並みと海 空港も見える





ランの開花 2015年09月12日

数年前に卓球仲間から分けていただいたランが開花した。

日蔭においておいたので、気づかずにいた。立派だ。

他にも、蕾が出てきたランがある。

早めに秋めいてきた今年の気候の影響だろうか。

ドラゴンフルーツ

2015年09月02日

ドラゴンフルーツの花は、なぜか15夜か新月の夜、8時ごろから咲き始め、翌朝8時ごろには終わる。8月のウーケイ前後には、15個ぐらい咲いた。開花後20日ぐらいして、赤みがかってきた実を収穫する。

屋上の三ヶ所に15鉢ぐらい育てている。今年は、出来がよくない。出来がいい年は、

5月末から11月初めまで、平均すると一日一個近く収穫となる。今年は7月から収穫しているが、2～3

日に一個ぐらいのペースだ。大きさも小ぶりだ。

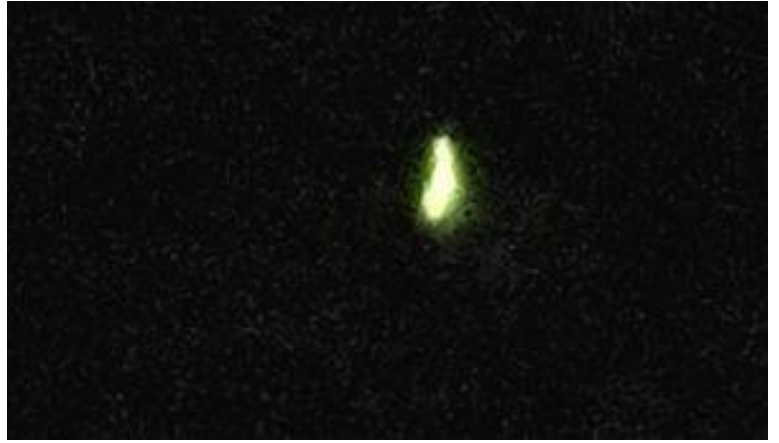
3～4年に一度ぐらい植え替えている。棘があるので、なかなか大変な作業だ。

堆肥を年に一回ぐらい与えているだけだ。水やりは不要。人工授粉が必要と言われるが、私はやっていない。隣の森から、昆虫がいっぱいやってきて授粉してくれるというラッキーな場なのだ。



びっくり 我が庭にホタルが現れる

2015年08月31日



先ほど、19時15分、ベランダから庭を見ていると、点滅するものがある。どこかの明かりの反射かと思ったが、そうでもない。

ホタルだろうか。恵美子と一緒に確認。恵美子がいうには、我が家の訪問者の一人がホタルを見たとのこと。7、8年前にも、ホタルを見たような、そうでもないようなことがあった。

そこで、近くまで行って、写真撮影。もう一匹いそうな気配も感じる。19時50分

何枚か撮ったが、一枚しか写せなかった。そのうち、こちらの動きを察知してか、飛び始めた。明らかにホタルの動きだ。そして、視界から消えた。完璧にホタルだ。

発見場所は、芝生から植木の庭への移行中で堆肥造成中のところ。2メートル足らずの所には、私が作った池がある。そこには、カワニナが沢山いるのも、幸いしたか。

ここに暮らして、間もなく満11年。とってもうれしい。たくさんのホタルが飛び交う庭畑にしたいものだ。

写真は、ホタルだけをすごく拡大したもの。うまく写せる技術が必要なようだ。

観葉植物園になってしまった中庭

2015年08月29日

我が家の駐車場から玄関へのアプローチには長さ3～4メートルぐらいの橋がかかっている。その橋の下は、10坪ぐらいの中庭だ。2階和室の前に位置して、北から南へとかなりの傾斜になっている。ここをどうするかに、苦勞してきた。ちょっとした植物を植えて放ったらかしてきたと言うのが、実のところだ。いただいた植物を露地植えしたものも多い。この地域に自生しているものも多い。だから、自分で購入した苗は、無きに等しい。

この日当たりの悪い場に、自然に適応する植物があるものだ。観葉植物たちが定着し元気よく育ってきて、思わず「これは観葉植物園だ」と叫んでしまったのは、今年のこと。そこで、ポトスに覆われ過ぎた庭のなかに、通路を作りはじめたのが8月。現在進行中だ。

上写真は、和室側から見た全体だ。

中写真は、西南側から見たもの。



下写真は、玄関駐車場から見た、中庭の上部。

主な植物を並べよう。

上部で日当たりがいいところ

トックリヤシモドキ ハイビスカス チョウチンブツ
ソウゲ

ミフクラギ (オキナワキョウチクトウ)

キバナタイワンレンギョウ

オオバナアリアケズラ (アラマンダ) ジャスミン・マツリカ



下部で日蔭になるところ

ポトス タマリユウ オリズルラン
タイワンレンギョウ (デュランタ ハリマツリ)
オオタニワタリ (アスプレニウム) アロエ ソテツ
クワズイモ (アロカシア) クロトン ゲッキツ
ゲットウ (サンニン) 千年木 (コルディリネ)
サンセベリア (とらのおらん) スパテフィルム
ドラセナ 月下美人 ヤブコウジ クロキ ミルクブ
ツシュ

他にも、まだまだありそうだ。風や鳥が運んだ種から、知らぬ間に出てきて、私が認知していないのもありそうだ。





今回の台風の影響は軽微だった

2015年08月26日

24日来襲した台風は、昼間中、暴風警報が出ている割には、被害は少なかった。八重山は大変だったようだ。

近くの糸数のアメダスのデータを見ても、風速は秒速20メートルを越えていないようだし、雨量も数十ミリだ。

主に南方向からの風だったので、我が家は隣の

森がさえぎってくれた。影響が大きかったのは、3階ベランダの日除け用の千年木だ。6本折れ、葉は、3～4割折れたりちぎれたりした。(写真)

このくらいの風速なのに、ちょっと想定外だった。今回は、ロープをかけたりの特別の対策をしないままだった。強い風には、折れて対応するのが千年木の対策なのかもしれない。

庭畑では、オクラが傾いたぐらいだった。落ち枝葉も少ない。このくらいの風では、どうってことはない、と植物たちは語っているようだ。

後片付けは、数時間の作業量で済みそうだから、2～3日の通常作業の枠内ですみそうだ。ただ毎回気をつけなくてはならないことがある。潮風にやられた枝葉が、襲来後3～4日してから大量に落ちることだ。

こんな時に、パッションフルーツが大量開花するので、人工授粉に手間がかかる。火曜日には48個も開花した



野菜 オクラ ウリズンマメ モロ
ヘイヤ カンダバー ニラ ツルム
ラサキ ルッコラ 2015年08月21日



今回は、収穫中の野菜

まずオクラ。20本ほど育てているが、ようやく一本の苗から3～4日に一個のペースになってきた。植え付けが遅かったこと、他の植物が日光を遮っていたためだ。ようやく好条件になり、収穫増加になりそうだが、そこに台風でどうなることやら。

左 ウリズンマメ (リュウキュウシカクマメ) 多年草化した昨年までの苗から大きくなったものと、昨年とった種から出てきたものがある。7月に最初の数個を収穫したが、その後、しばし休憩していた。よ



うやく今になって、本格化し始めた。毎年のことだ。

理由はわからない。うまくいけば11月まで収穫できるのだが、取らぬ狸の皮算用か。



中右 モロヘイヤ これまた、多年草化した昨年までの苗から大きくなったものと、昨年とった種から出てきたものがある。10本あれば十分間に合う。7月から収穫開始。芽を2～3個残して、枝を切って収穫。そうすると、いつまでも収穫が続く。11月までだろう。



左 カンダバー (芋の葉) 最近、開発されて人気上昇中の「ぐしちゃんいいな」だ。茎葉が柔らかくて、茎葉を食べる専用の品種。何もしないが、どんどん育つ。先日整理していたら、大きく

なった芋がでてきた。想定外。

ニラ 数年に一回に植え替えるだけで、植えっぱなし。多くの苗は、愛知時代に育てていたものだから、12年以上になる。

中左 ツルムラサキ 10年ぐらい前に苗を植えたことは確かだが、その後は放りっぱなし。種が飛んで、あちこちから出てくる。



中右 ルッコラ (ロケット) 写真のものは、昨秋に種をまいたもの。暑さにめげずに、今も頑張っている。

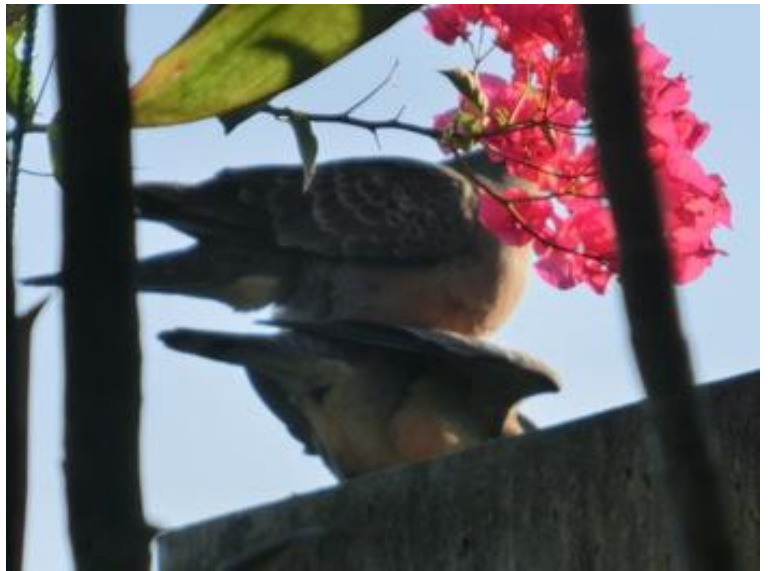


ベランダで鳩の交尾 アロマ・ハーブの会

2015年08月19日

休日も平日もない生活をしている私たちだが、夏休み雰囲気が漂うこのごろの出来事いくつか

食事は、ベランダの向こうに広がる摩文仁光景を見ながらが多い。そのベランダの塀の上で、二羽の鳩がじゃれ合う。やがて交尾を始める。以前にも目撃したことがある。今回は、近くにカメラがあったので、撮影。交尾が終わったころ、別の一羽がやってきた。どんな家族構成なのだろうか。



鳩とイソヒヨドリは、ベランダのメダカ水槽に水飲みにやってもくる。

15日、恵美子が主宰して、アロマ・ハーブの会をする。7、8名の参加。私は、畑のハーブを提供する仕事。

10種ほどのハーブを皿に飾った。

果物 バンシルー 2015年08月17日

今回は果物について書く。

大量になったバナナも、終わった。98本だったが、一挙に熟するので、私たちだけでは消費し切れない。そこで、いろいろと差し上げたり、来客に振る舞ったりする。それでも残ったものは、冷凍保存して、なにかの機会に使うことになる。

ドラゴンフルーツは不作だが、それでも6月半ばから20個ぐらいは収穫したかな。収穫は10月まで続くだろう。

8月中旬になって、バンシルー（グアバ）が収穫を迎えた。40個ぐらいか。これまた、鳥が突つき始めて気が付いた。我が家のものは「台湾バンシルー」で、やや大きめだ。植えて9年余りだ。今年が本格的収穫の初年だ。結構おいしい。皮つきで、そのまま食べる。種を気にしていたら面倒なので、そのまま食べる。

他に、数粒しか収穫できなかったが、アセロラが熟した。現在3本植えているが、植えて3～4年なので、あと2～3年すれば本格的収穫を迎えるだろう。似たものとしては、ピタンガがある。数粒ずつくらいは食べられるが、本格的収穫はいつになるのだろう。

9～10月は、ドラゴンだけだろう。11月に入れば、パッションフルーツが、次の収穫期を迎えるだろう。



常時何かが収穫できる時を夢見ている。



楽しむことにした。

サワフジ＝サガリバナ満開

2015年08月08日

恐れていた台風は、それたようだ。風が少々強いぐらいだった。雨量がもう少しあるといいのだが。我が庭は、いろいろと結実満開を迎えた。数年前サワフジ＝サガリバナを2本植えたが、今では毎年咲かせてくれる。今回は、一挙に10房近くが開花に至った。

夜、7時半過ぎになり暗くなると、開花を始める。朝7～8時ころには散る。

そこで、ライトを買ってきて、夜間照明しながら、





バナナ収穫

2015年08月06日

4月に結実したバナナに変化が出た。一本、動物が「試食」した後を見つけた。多分コウモリだろう。まだ未熟なためか、少し食べて「まだ早いな」と気づいたのか、つついただけにしてある。

翌日、はちきれて皮が割れている一本を見つけた。ほのかにバナナの香りがする。

5月収穫したものは、結実から収穫まで六か月要したので、四か月でまだ早いかと思ったが、香りが出ているので、思い切って収穫した。重くてずっしりしていて、両手でしっかり支えないと、持ちきれない。

写真は、収穫直前。

このバナナは、三尺バナナという名で、高さ三尺、つまり1メートルで結実するというになっている。我が家のは、1メートル50センチほ

どの高さで結実する。ズングリムックリ型だ。

1、2本、味わってみると、食べごろ間近だ。

7段98本あった。段ごとに切り分けた。

早速、孫たちのところへ送った。近隣や来客に味わっていただくつもりだ。前回収穫の食べきれないものは、冷凍して、バナナケーキや、冷凍のままアイスキャンデーにしている。

味わいたい方は、中旬に来宅するといいかもしれない。



現在の庭づくり

2015年08月03日

ここに住み始めて間もなく満11年になる。最初は、雑木林ないしは原野だった。所々に前所有者が植えたクルチ十数本と金煌マンゴー一本とライチが三本あった。建物の敷地になる個所にあった樹木は、工事の際に移植していただいた。建物敷地を取り巻くようにして、掘り出てきた岩石で、石垣を造っていただいた。その内側は、岩石混じりの山土で埋め戻された。そ

こに庭を造り、外側は畑にした。

私達の注文が、建物敷地以外は、可能な限り自然を残すようにということだったから、宅地造成をしないで、原野・雑木林のままになったわけだ。

引っ越してから、畑庭作りが始まった。すでにある木はそのままにして、「開墾」を始める。石垣に内側は、庭にしたが、土が栄養分ゼロに近く、土づくりが必要であった。それをほとんどしないで、芝を植えたりしたので、うまく育たないに決まっている。その芝を断念して、改めて作り直し始めたのは、6～7年たってからだ。まずは周囲からコンポストでの堆肥づくり。そして、大きな穴を掘って、枝葉を大量に埋め込んで、らせん型ハーブ園づくり。そして、今年の2月からは、残りの芝をほぼすべてはがして、深さ50センチ余りの大きな穴を三つ掘り、枝葉を大量に入れて、土づくり。現在進行中だが、まもなく樹木などを植えるつもりだ。今は移行期で、野菜・ミント・草花を植えている。



埋め込んだバナナ（昨年の台風で倒れたもので、半年たって埋めた）から、新芽が出てきて、もう1メートルの高さになっているが、これはそのまま育てようか、と思っている。

ほかには、現在鉢植えだが、巨大化しそうなラクティアも移植予定だ。主木として、桜を植えることも考えている。

この新しい庭の完成は、10～11月になりそうだ。

畑の方は、野菜中心から、果樹中心へと移りつつある。

他に大きな作業としては、東側通路を、客人も通れるようなものにすることがある。そして、中庭の整備がある。

やることは一杯。一日1時間余りの作業だが、自己満足レベルから、客人も楽しめるようなものにするには、これから5年ぐらいかかりそうだ。

サボテン移植 2015年07月28日

夏真っ盛り。台風も続けてくる。でも先週末のものは、たいしたことはなかった。10日の台風も、昨年・一昨年のもものと比べれば、小さかった。それだけ、この2～3年は台風の被害が大きかったということだ。風速が50メートルを超すと大変、それ以下だと、大きくないという感覚にさせられた感じだ。沖縄生活、総計30年に近づいているが、ここ数年の台風は、私の経験上でいうと、大変な台風の連続だ。

後片付けが大変だ。直後の片づけから始まって、数日後に潮風で落ちる大量の葉の片づけ、そして、倒れた樹木、草花の再生を図るための処置。10日来襲の台風でいうと、2週間必要だ。

今回の締めくくりは、倒されたサボテンの移植だ。高さ4メートルを超すし、重い。それでも頑張っ、写真のようにした。



右側にあるのが、今回の移植だ。枇杷の木を支えにした。高さ2メートル余りの枇杷の木を突き抜けてサボテンが立っている。

左側は、昨年10月の台風で折れたものを、らせん型ハーブ園中央に、移植したものだ。五か月後に、定着を確認した。5, 6本植えたのだが、2本が復活した。今回のものは、どれだけ復活するだろうか。幸い根元で折れて、いづらか根がついているので、なんとかなるだろうと期待している。結果判明には半年かかるだろう。

沖縄薬草は、在来ハーブ

2015年07月22日

私は、薬草も育ててきた。収穫したものを乾燥させて、薬草茶にするか、薬用酒にしてきた。

薬草を、在来ハーブ、琉球ハーブ、沖縄ハーブと呼んでもいいのだそうだ。

いくつか紹介しよう。

右 クミスクチン 和訳すると猫のひげ、ということだ。美しい花をいっぱい咲かせる。生育しすぎて、処理に困るほどだ。

中左 ハママーチ 岩の上など、乾燥したところでよく育つ

中右 長命草



下左 よもぎ(フーチバー)

下右 うっちゃん(うこん)





左 クワンソウ



右 さんじん
(月桃) 実
も薬用効果が高
いそうだ。

中左 さんじんの種



中右 ドクダミ



下右 枇杷の葉





ローレル イタリアンパセリ ルッコラ ウォールジャーマンダー ローゼル

2015年07月18日

まず月桂樹、別名ベイ、そしてローレル。植えてから10年近くなる。樹高2メートル近く。料理用にもなるし、ハーブティー用にもなる。

下左 ローゼル 最近、いろいろと活用が広がっているし、栽培している農家もある。もうしばらくすると、ピンクのきれいな花が咲く。我が畑ではほったらかしで、多年草化している。



下中 ウォールジャーマンダー 我が庭では、時々ダメにして、苗を購入して植えることになることもある。私は、活用方法がわかっていない。活用するほど大きくなっていないが。

盛夏なので、苦しんでいるものもある。



下右 イタリアンパセリ 写真は多年草化しているものだが、日陰なので、夏をうまくやり過ごしている感じだ。





上左 ルッコラ 猛暑に耐えている。年中、生野菜として活用している。



夏でお休み中のものを並べておこう。9～10月に新しい種苗でスタートする予定のものだ。
コリアンダー カモミール チャービル フェンネルの類

元気がよかったレースラベンダーは、先週の台風の風で駄目になった。ナスタチウム（キンレンカ）は、9～10月には、畑庭のあちこちから顔を出してきて、12月ごろから花をたくさんさかせるだろう。今年も、たくさんの種をつけて、それらをあちこちにばらまいたからだ。

このほかに、ハーブの本によっては、ハーブの仲間とされているものを、いくつか紹介しておこう。

右上 アスパラガス



下左 キダチアロエ

下右 アロエベラ





セージ三種 レモンティーツリー コモンバ
ジル 2015年07月15日

セージは、現在3種類育てている。これまでに、他に数種類育てた。これ以外でよく生育したのは、メキシカンブッシュセージ。繁殖しすぎて、整理してしまった。

左 ボッグセージ。株分けして、何カ所かに植えている。



右 メドウセージ。ボッグセージ同様に、放置してあるが、よく育つ。両方とも、花が可愛い。



左 コモンセージ 何度も植えたが、失敗続きだった。今回初めて根付いたようだ。

セージは、使い方がむずかしくて、もっぱら観賞用だけになっている。

右 レモンティーツリー。数年前に植えて、ようやく最近定着した感じがする。ティーツリーに似ているので、仲間だろうと思っていたが、改めて調べてみると、全く異なるということだ。大きくなるのが楽しみだ。



左 コモンバジル。料理用によく使われているので、お店で売っていることも多い。栽培はいたって簡単。我が家では、スパゲッティによく使う。大きくなりすぎても、放置しておけば、開花し多年草化する。種がこぼれて、新しい苗ができることも多い。



いろいろなミントとローズマリー

2015年07月11日

6月までに紹介したミントとローズマリーのなかで、未紹介の3種類のミントと2種類のローズマリーを紹介しよう。

上左 オレンジミント 結構強いタイプ 年中元気だ。

上右 ブラックミント 味が濃いミント たくましい感じ

中右 ジンジャーミント 元気な時期とそうでない時期の差が大きい。今は元気の時期。

以上のミントは、ハーブティーに使う。



下左 オーストラリアン・ローズマリー

新しい仲間。苗店で初めて見かけたので、植えてみた。——後日補足 これはローズマリーに似ているだけで、ローズマリーの仲間でもなんでもないし、ハーブでもないことが判明

下右 這うタイプのローズマリー 昨年植え付けたが、定着したようで、成長速度を速めている。



以上は、いずれもらせん型ハーブガーデンで育てている。





マンゴー パッションフルーツ
 バナナ グァバ ドラゴンフル
 ーツ 2015年07月08日

現在の我が畑の果物事情
 ライチは、先月で終わる。

マンゴーは、全くの不作。2月にはたか
 さんの開花で、実もたくさん付いたが、途
 中落果ばかり。2個の収穫のみ。金煌マン

ゴーで、表面は青いまま熟する。とびきり美味しい。市場では知られていない種。300個の実をつけた5年前の再現を期待したい。



パッションフルーツの季節になってきた。4月開花の黄色になる種だ。紫色のものは、大規模剪定をしたので、秋以降になりそうだ。

黄色は、沢山実をつけているので、これから2か月ほど楽しめそうだ。ソフトボール大の大きなものばかりだ。

6月に一房食べたバナナだが、4月に出てきた次のものが鈴なりだ。100本ほどついている。9～10月ごろ収穫だ。



グァバ=バンシルー。5月末～6月初めに開花したものが、数十個実になっている。収穫は2～3か月後。

ドラゴンフルーツは、例年より一か月余り遅い。下右写真が、今年第一号。来週収穫予定。左側の蕾は、来週初め開花だろう。20個ぐらいだ。



ヤロー セントジョンズワート

ワイルドベルガモット ローズマ

リー レモンバーム

2015年07月06日

今回は、我が庭のらせん型ハーブガーデンのハーブ5種。いずれも多年草。このらせん型が3年目を迎えるので、3年目を迎えるのがほとんど。



上 まずヤロー。風邪にいいということだが、このところ風邪をひいていないので、使用していない。

左 セントジョンズワート（西洋おとぎりそう）鎮静効果ということだ。ただ、薬によっては同時飲用を避けよという注意書きがあるものがある。ハーブティーに時々加える。

右 ワイルドベルガモット 栽培を何度か試みたが、今回は大成功。ハーブティーに時々加える。





左 ローズマリー 20年近く愛用してきた。元気を出させてくれる。生育速度はゆっくりで、試行錯誤を繰り返してきた。ようやく慣れてきて、今は3種5本育てている。写真のものは、今年の台風で横倒しになったが、そのまま新芽が伸びてきて、現在高さ50センチ

右 レモンバーム 穏やかなハーブだ。ハーブティーに加えている。





メキシカン・スイート・ハーブ

ステビア オレガノ タイム

カラミント 2015年07月01日

まず、甘味があるもの。二つとも、ハーブティーに加えると、砂糖代わりになる。

上 メキシカン・スイート・ハーブ これは、何の手入れもなしに、どんどん生育する。地被植物としても活用できる。干ばつにも強い。繁殖制限が必要なほどだ。

右 ステビア これは、砂糖代わりということで、有名なハーブだ。何度か栽培して失敗続きだったが、ようやく定着してきた。2, 3枚の葉で、スプーン一杯ぐらいの砂糖ぐらいの甘さだ。



左 オレガノ これまた元気よく生育する。ハーブティーにもいれられるが、料理用がいいだろう。乾燥させて粉にしてチャンプルーにいれたりする。オリーブオイルに浸けて、ペーストにしたことがある。



タイム 失敗を繰り返してきたが、ようやく定着してきた。元気を出してくれる強いハーブで、少量で効果がある。私が長年愛用してきたハーブの一つだ。

下 カラミント ずっと育っているが、使い方がよくわからない。時々ハーブティーに入れるぐらいだ。

